

森之宮（府立成人病センター跡地）のまちづくりについて（素案概要）

基本的なコンセプトと考え方

森之宮地区の現況図

- <所在地> 大阪市東成区中道
- <活用面積> 約2.4ヘクタール
- <交通> JR環状線、地下鉄中央線・長堀鶴見緑地線「森之宮駅」から徒歩3分、中央大通にも面し、バス路線でもあり交通の便に優れている
- <都市計画等>
 - ・道路形状：北側は中央大通に面しており、その上には阪神高速道路が高架になっている。
 - ・容積率/建ぺい率：
 - 中央大通沿道部分は商業地域（600%/80%）
 - 大部分は準工業地域（300%/60%）



環農水総合研究所は、現在あり方を検討中であり、その状況を見極めながら森之宮まちづくりのゾーンに含めて検討を進める

基本的考え方

健康科学センターや森之宮クリニックなどの既存の健康・医療施設との連携を図り民間活力の導入等により、「地域医療と健康」をコンセプトに核となる機能を中心とした複合的な賑わいのあるまちづくりを進める。

生活利便性の向上

- ・地域の活性化に資するものであり、地域住民の利便性を図ること。
- ・医療健康のまち、人が集う賑わいのまち

ポテンシャルの活用

- ・健康科学センター、森之宮クリニック(PET)等との連携

地域医療への貢献

- ・健康と予防により地域住民の健康増進、医療水準の向上を図る

導入すべき機能と施設例（まちづくりの中心となる施設とイメージ例）

跡地の活用については、賑わいのあるまちづくりを進めるため、既存施設との連携を図りつつ、核となる機能を中心とした複合的な賑わいのあるまちづくりを進める。

（医療機関・健康関連産業等との連携）

- 地域に根ざした診療機能やメディカルモール
- スポーツジムなどの健康関連企業の誘致
- 健康食品・薬品
- 高齢者に対する一体的なケアを行う支援機能

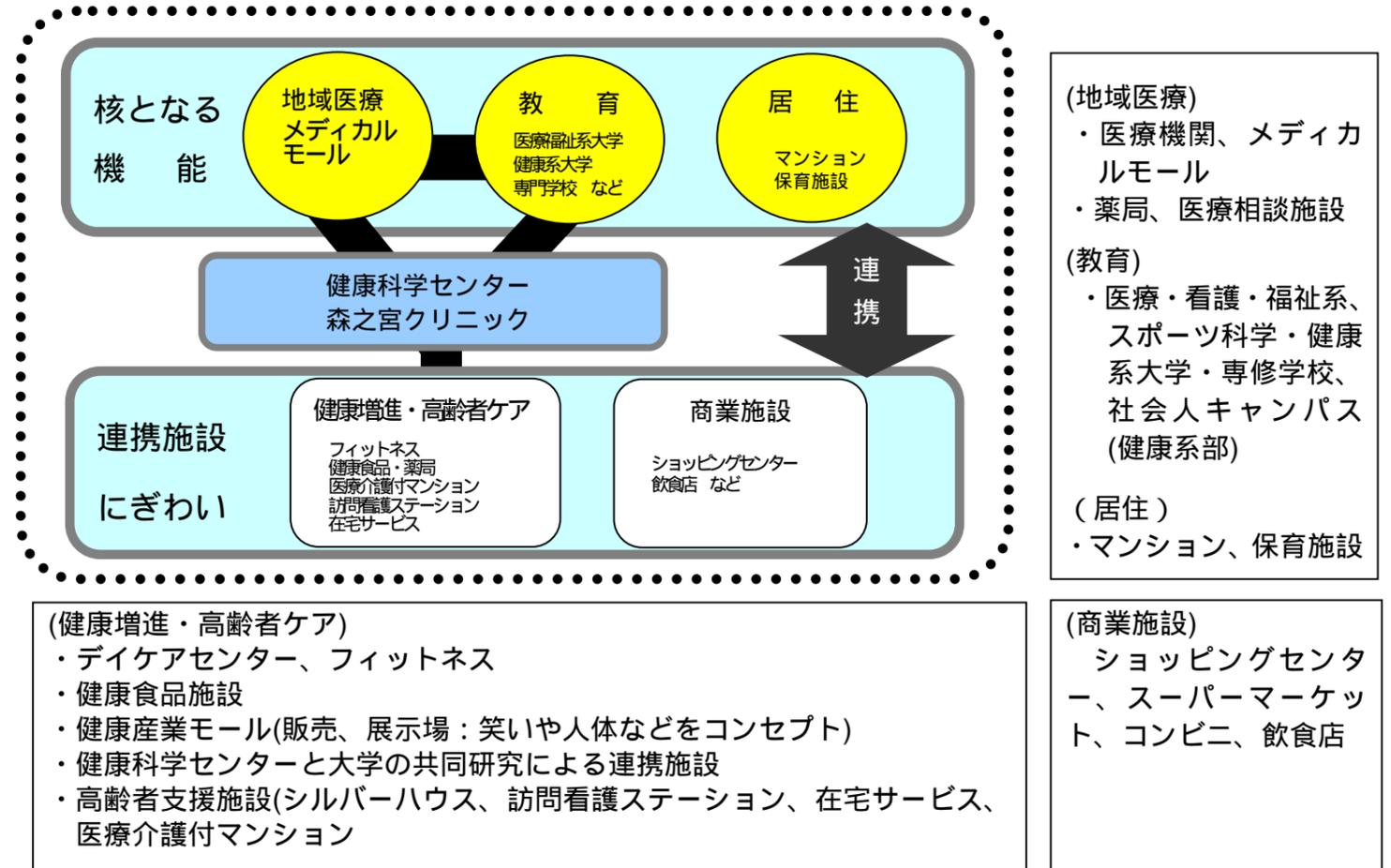
（教育施設との連携）

- 次世代を担う医療・福祉関連の人材養成を行う教育施設

（多様な世代間交流を図る住環境との連携）

- 都心居住を望む若年世代やシニアなど世代間の交流促進が図れる居住環境(住宅・保育)

機能・施設(例)



- (地域医療)
- ・医療機関、メディカルモール
 - ・薬局、医療相談施設

- (教育)
- ・医療・看護・福祉系、スポーツ科学・健康系大学・専修学校、社会人キャンパス(健康系部)

- (居住)
- ・マンション、保育施設

- (商業施設)
- ・ショッピングセンター、スーパーマーケット、コンビニ、飲食店

- (健康増進・高齢者ケア)
- ・デイケアセンター、フィットネス
 - ・健康食品施設
 - ・健康産業モール(販売、展示場：笑いや人体などをコンセプト)
 - ・健康科学センターと大学の共同研究による連携施設
 - ・高齢者支援施設(シルバーハウス、訪問看護ステーション、在宅サービス、医療介護付マンション)